

第2回理事会

歯科医療改善求め運動強める

診療報酬増、患者負担減めざし署名

協会は9日、第2回理事会を開き、レセプトオンライン請求義務化撤回「大阪訴訟」で5月中旬に350人の原告団をめぐり、診療報酬引き上げ、患者負担軽減など医療・歯科医療改善を求め、団体署名や患者署名、自治体意見書採択などに取り組み、世論を作っていくこと、評議員会・総会に向けて役員選考委員会から推薦があった理事・監事名簿の承認や新年度予算案の最終承認などを行った。

レセプトオンライン大阪訴訟の原告団参加呼び掛けは機関紙、ファクシミリ、評議員会、総会始め各種集会で訴える他、役員とのつながりを活かして広げていく。原告団募集は5月末で締め切り、6月中旬に二次提訴する。裁判の第1回口頭弁論は7月10日午後1時30分、2時、大阪地裁1007法廷に決まった。

6月以降は、患者情報漏洩の危険性などオンライン請求義務化の問題点を患者・国民に広げることとを重点にする。既存のポスターやパンフレットの活用始め、オリジナルのパンフレットづくりも検討して、診療所内外での宣伝を強める。

診療報酬引き上げ、歯科医療改善では、厚労省や日歯が選定療養拡大を指向している中で、歯科医院経営を守り、「保険でよりよい歯科医療」を実現するため、患者負担軽減と診療報酬引き上げを両輪にした運動を、総選挙も視野に入れて強めることにした。

とりわけ、混合診療拡大を許さない会内の合意づくり、患者・国民への問題提起と共同行動の拡大を重視する。

具体的には①社会保障予算の拡充を求める団体署名②歯科患者署名「いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配いらない『保険で良い歯科医療』の実現を求める請願署名」③「保険で良い歯科医療を」の実現をめざし過半数の地方議会で見書採択を——の運動を重点にする。



顎関節症の治療法について説明する
濱田氏＝4月19日、M&Dホール

生涯講座 4月度研修

「適切な症型診断を」

顎関節症への対処法を解説

協会の歯科臨床・学術学会部は4月19日、M&Dホールにおいて4月度生涯研修講座を開いた。

「顎関節症とその周辺疾患」をテーマに近畿大学医学部附属病院歯科口腔外科教授の濱田氏が講演した。

も取り上げられることが多く、病状に過剰な反応を示す患者も見受けられる疾患と言える。

濱田氏は、一般歯科開業医は顎関節症と類似の症状を起こす他の疾患を正しく鑑別する必要性を述べ、また顎関節症ならばその症型診断と症型別の治療目標と治療方針をたてることが重要であることを強調した。

日本顎関節学会ではI型(咀嚼筋障害)、II型(関節包・靱帯障害)、III型(関節円板障害)、IV型(変形性顎関節症)の4型に分類される。I型は、V型(以上のいずれにも分類されないもの)の5型に分類されており、そのうち関節円板障害であるIII型については円板の復位の有無や転位の方向による違いによって出現する症状を特に詳しく解説した。

治療法では、薬物療法としては消炎鎮痛剤の投与がもっとも効果的であり、理学療法では赤外線照射を行うのがよいとのことである。

また、患者にストレスの原因を自覚させる心理療法が効果を奏する場合もあることを報告した。

スプリント療法、徒手整復術については、症例にあわせて一般開業医にもできる具体的な方法を解説。とくにスプリント療法は材質や調製法、指導の要点などについて丁寧に説明した。講演終了後も、濱田氏は個別の質問に丁寧に答えていた。

(東大阪市・西川真二)

オンライン請求 最大で1年延長

今年4月からレセプトオンライン請求が義務化された病院や薬局に対して、最大1年間義務化を延長する厚労省の改正省令が8日、施行された。

保団連は同日、声明を発表した。来年以降の義務化スケジュールは変わっていないと指摘し、今回の事態について、オンライン化への対応が「不可能であることを物語っている」と強調。義務化の撤回を求めた。

団体署名活動をとおして国民の中に、患者負担軽減、2200億円の削減路線からの転換、診療報酬引き上げの世論拡大を目指す。取り扱い団体は、保

協会、地区組織、地域社保協参加の諸団体などとし、協力要請のために協会、地区として諸団体との懇談に取り組み。団体署名をすすめるため、保

団連リーフ「いま、日本の医療を救うために」、保団連パンフ「保険でよい良い歯科医療」を活用する。さらに、大阪歯科オリジナルのリーフ「ど

うくなる歯科医療(仮称)」も作成する。

歯科患者署名は保団連などで27万筆以上をめざすとしており、大阪歯科は3万を目標にする。

第49回定期総会 記念講演抄録



メタボリックシンドロームの合併症としての歯周病

西村 英紀氏(広島大学大学院医歯薬学総
合研究科健康増進歯学教授)

や21世紀の国民病は糖尿病であると言われている。この背景にはライフスタイルの急速な欧米化(交通手段の発達と食生活に占める脂質の摂取量の増加)が関与すると考えられています。

歯周病はこれまで、糖尿病の6番目の合併症(5大合併症ではない)で併発症と言った人もいま

す」と言われてきました。さらに、糖尿病に密接に関連した肥満も歯周病の危険因子であると考

る、あるいは心筋梗塞の発症・重症化した歯周病が、逆に軽微な慢性炎症として糖尿病の血糖コントロールに影響を与え

る、あるいは心筋梗塞の発症・重症化した歯周病が、逆に軽微な慢性炎症として糖尿病の血糖コントロールに影響を与え

る、あるいは心筋梗塞の発症・重症化した歯周病が、逆に軽微な慢性炎症として糖尿病の血糖コントロールに影響を与え

る、あるいは心筋梗塞の発症・重症化した歯周病が、逆に軽微な慢性炎症として糖尿病の血糖コントロールに影響を与え

る、あるいは心筋梗塞の発症・重症化した歯周病が、逆に軽微な慢性炎症として糖尿病の血糖コントロールに影響を与え

る、あるいは心筋梗塞の発症・重症化した歯周病が、逆に軽微な慢性炎症として糖尿病の血糖コントロールに影響を与え

る、あるいは心筋梗塞の発症・重症化した歯周病が、逆に軽微な慢性炎症として糖尿病の血糖コントロールに影響を与え

第24回保団連医療研究集会 深めよう! 日常診療に活かす 医科歯科連携

10/10(土)18:00-20:30

◆記念講演

「全身疾患と歯周病～医科歯科連携に向けて(仮)」

講師 中川 種昭氏

(慶応義塾大学医学部
歯科口腔外科教授)

10/11(日)9:00-16:00

◆分科会

「在宅医療・介護」
「歯科診療の研究と工夫」
「医科歯科連携した研究と日常診療の工夫」ほか

◆ポスターセッション

◆シンポジウム

「医師・歯科医師としての高齢者介護」
「食育～健康な大人になるために」ほか

分科会
ポスターセッション
演題募集中

会場：東京・都市センターホテル

主催：全国保険医団体連合会

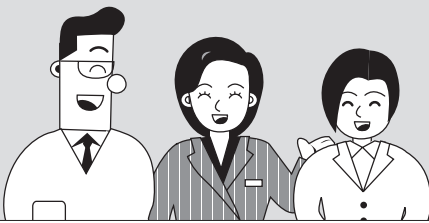
問い合わせ：協会事務局(Tel.06-6568-7731)

求人 ハーモニックにおまかせ下さい

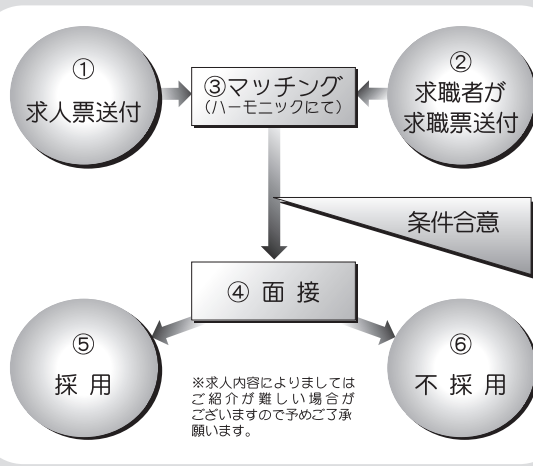
歯科医師 衛生士 助手 技工士

優秀な人材をご紹介します

常勤、アルバイト、パートに関わらず人材採用のお手伝いをさせていただきます。弊社にて事前に面接済の求職者の中からご希望の条件と合う方を探し、ご紹介致します。



ホームページ <http://harmonic-net.co.jp>



24時間受付

お気軽にお電話下さい

株式会社 ハーモニック

(和田精密グループ)

フリーコール 1114510

TEL 0800-1114510

FAX 06-6393-3232

e-mail: info@harmonic-net.co.jp

担当：下田

532-0002 大阪府淀川区東三国1丁目12-15

有料職業紹介業 27-ユ-300406

一般労働者派遣業 般27-060054